

社会に対する関心を高める実践

宮崎第一中学校 教諭 緒田 浩輔

1 はじめに

本校は、2021年度よりNIE実践指定校となっており、2年目である本年度は、「社会に対する関心を深める」をテーマにして活動した。新聞を身近なものにし、社会で起こっている出来事に関心をもつ取り組みを行った。

2 本年度の取り組み

(1) NIE コーナーの設置

① 目的

- ・新聞記事を身近なものにするため、職員室前のスペースを活用し、生徒が自由に新聞に触れる機会をつくることで、新聞に対する興味・関心を高める。
- ・関心のある分野の記事を探しやすくする。

② 昨年度の反省

- ・ただ新聞を置いている状態だったので、興味を持って新聞を手にする生徒が少なかった。
- ・新聞を座って読むスペースが無かった。
- ・興味のある分野の新聞記事を探すのに時間がかかった。
- ・複数の記事の比較をするのが難しかった。

③ 取り組み方法

- ・7月までは、NIE実践校として提供を受けている5紙の新聞をスクラップしたが、その後は、教員が提供する新聞3紙を使用した。スクラップブックは棚に並べ、いつでも見られる状態にしていた。
- ・関心のある新聞記事を見つけやすく、記事の比較を容易にするために、新聞社ごとにスクラップブックを用意し、SDGsの項目別に記事を貼った。その日の注目すべき記事を選んでホワイトボードに貼った。
- ・棚の隣に机と椅子を設置し、新聞を広げて読めるスペースを確保し、生徒たちが自由に読める環境を整えた。



④ 取り組みの実際

- ・切り抜いた新聞記事の掲示を立ち止まって見る生徒が増えた。
- ・新聞社ごとにスクラップすることで、同じ内容の記事が他社ではどう書かれているのか関心を持つことができた。
- ・机を使い、椅子に座って、2～3人で新聞を眺める姿や、2つの新聞を見比べながら記事を読む姿が見受けられた。
- ・スクラップブックは、調べ学習や1分間スピーチの話題集めなどにも活用されていた。
- ・NIEコーナーを利用する生徒は固定化されており、全生徒の利用率は高くはなかった。



(2) 総合的な学習での NIE 活動の取り組み (中学1年)

① 目的

- ・新聞を読むことによって、日本や世界でどんなことが起こっているかを知る。
- ・1つの分野の問題が、新聞の中でどれくらい記事になっているのか、また、どのようにとりあげられているのかを知る。

② 昨年度の反省

- ・新聞を読み慣れていない生徒への指導が足りなかった。
- ・記事がSDGsの項目のどれにあてはまるのか、生徒が判断できないことがあった。

③ 取り組み方法

- ・総合の時間にエネルギー問題についての学習をし、新聞から世界で起こっているエネルギー問題の記事を探した。
- ・エネルギーについてのキーワードを数十個提示し、そのキーワードが含まれる記事を切り抜いた。
- ・その中で一番関心をもった記事を選び、ワークシートに沿って内容のまとめを行い、感想を記入した。

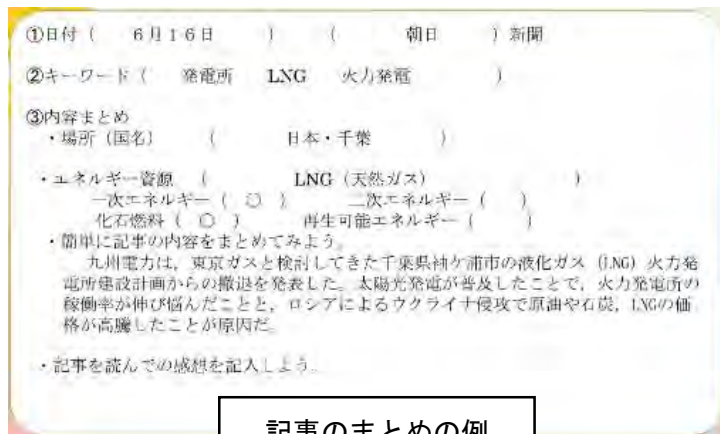
④ 取り組みの実際

- ・1つの新聞から、多くのエネルギー関連の記事を見つけ出すことができた。



ワークシートとキーワード例

- ・エネルギーにまつわる問題や、世界で起きていることに興味を持つことができた。
- ・キーワードを提示することで、容易にエネルギー問題の記事を見つけ出すことができた。
- ・同じキーワードが載っている記事を見比べることで、エネルギー問題をいろいろな角度から知ることができた。



記事のまとめの例

(3) シンブリオバトル

① 目的

- ・新聞の記事をいかに効果的に紹介するかを競うことで、NIE 活動に対する意欲をさらに高める。
- ・社会の問題に目を向け、記事の内容を自分なりに解釈し、他者に自分の意見を伝える表現力を身につける。
- ・相互採点を行うことで、効果的な発表のしかたを考えるとともに、他の生徒の発表を真剣に聞く態度を養う。

② 昨年度の反省

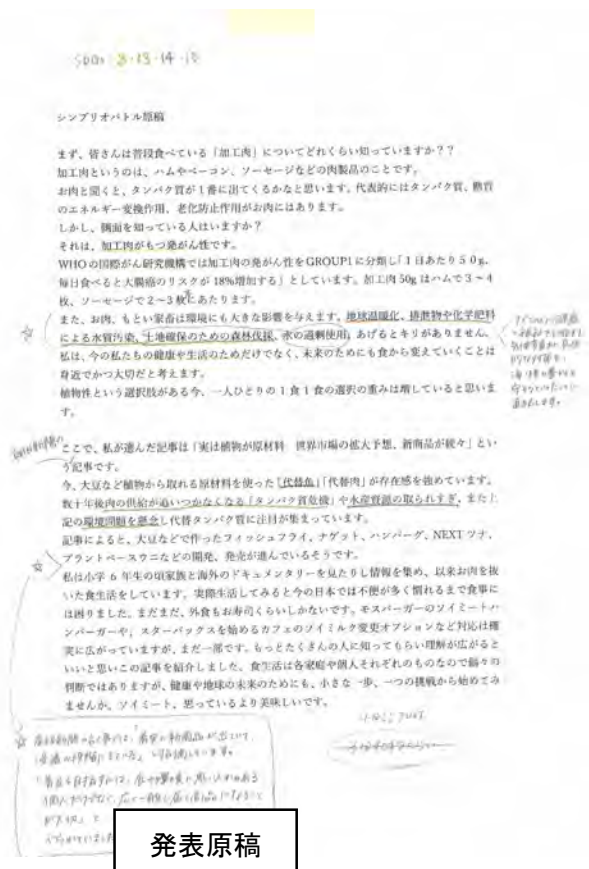
- ・多様な視点を持つために、複数の新聞記事の比較ができているかを採点項目に入れていたが、それができた生徒は少なかった。
- ・採点用紙に記入する方法をとったため、集計に時間がかかってしまった。
- ・生徒が採点項目を意識しながら採点できたか振り返りを行えなかった。

③ 取り組み方法

- ・興味のある記事の一つを選び、ワークシートに沿って記事をまとめる。
- ・まとめた後、もっと知りたくなったことを、他の新聞社の記事や、論文、調査結果をもとに調べる。
- ・発表原稿の作成を行い、発表の練習を行う。
- ・学級バトル、学年バトル、全校バトルを行い、チャンプ記事を決める。

④ 取り組みの実際

- ・全生徒が発表原稿を作成し、発表を行うことができた。
- ・2、3年生は去年の発表を超えようと、記事の比較をしたり、さらに自分で調べたりした生徒が目立ち、発表に工夫が見られた。
- ・今年度の採点は時間短縮のため、学年バトル以降は、グーグルフォームを用いて採点を行ったが、通信不良のため急遽紙での採点になった。



- ・昨年度より内容が充実した発表ができた生徒が多かったものの、昨年度の優勝者のように聴衆をひきつける魅力のある発表をした生徒が出なかった。



左 学級での発表の様子 右 全校発表のようす

3 成果と課題

【成果】

- 新聞を読み慣れていない生徒が、新聞の活用方法を学ぶことができた。
- 日本や世界で起こっている問題に対して興味・関心を持ち、新しいものさしとして新聞を見る生徒が増えた。
- シンブリオバトルを通して、生徒が自分の考えを人に伝える活動に非常に意欲的に取り組んだことが印象的であった。日頃おとなしい生徒の意外な一面を知ることができた。

【課題】

- 教員が普段から新聞にふれる授業や取り組みを考え、新聞を身近なものにしていく必要がある。
- 今年度は、NIE 活動を通して、社会に対する関心を高めることに重点を置いたが、読解力・表現力を高めるための指導をもっと充実させる必要がある。
- 単発的な活動が多かったため、生徒にとって新聞に触れることが日常的な活動になるよう、朝夕の SHR などに取り組む方法を考えていきたい。